

① 平成 28 年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 奨学事業

(1) 奨学生の選考及び決定

平成 28 年 3 月 23 日開催の選考委員会において、推薦を依頼した指定 25 大学からの奨学生候補者について審査の結果、下表のとおり、一般奨学生 27 名（学部 10 名、大学院 17 名）、特別研究奨学生 5 名の計 32 名を新規に採択し、理事長はこれらを第 15 期小林奨学生として決定し、それぞれの大学に通知した。

これにより、平成 28 年度（第 15 期）の奨学生は、新規採択奨学生 32 名に継続の奨学生 38 名を合わせ、計 70 名となった。

内訳：

種 別		新規採択者	前年度からの継続者	計
一 般 奨 学 生	学 部	10	7	17
	大学院	17	21	38
特別研究奨学生	学 部	1		1
	大学院	4	10	14
計		32	38	70

(2) 奨学金の支給

ア. 奨学金贈呈式

平成 28 年 6 月 3 日に新規奨学生への贈呈式を行った。

イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、一般奨学金（学部生月額 15 万円、大学院生月額 18 万円）、特別研究奨励金（月額 20 万円）をそれぞれ 4 月から 1 年間支給した。

(3) 学業に関する報告及び生活状況報告

平成 29 年 1 月、奨学生の勉学の状況・成果の報告、生活状況報告を求めた。

(4) 平成 29 年度奨学事業関係

平成 29 年 2 月 16 日付けで、平成 29 年度奨学生の候補者の推薦を 22 大学の長あて依頼した。（推薦期限は、3 月 6 日）

2. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員、選考委員及び評議員選定委員の出席を得て次のとおり開催した。

第1回 平成28年6月3日 第15期贈呈式・交流会

第2回 平成28年9月15日～16日（1泊2日の姫路・神戸研修旅行）

第3回 平成29年3月4日 第15期終了式・15周年記念交流会

(2) 「翼」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「翼」第15号を平成29年3月31日に刊行した。

3. 研究助成事業

(1) 公募期間：平成28年10月11日～11月11日

(2) 平成28年12月15日開催の選考委員会において下記20件を採択し、理事長は、これらを研究助成受給者として決定し、各研究代表者に通知した。

氏名	所属機関及び職名	専門分野	研究テーマ
根本英二	東北大学大学院 歯学研究科 准教授	歯周病学	解離性大動脈瘤に対する新規イメージング診断技術開発に関する研究
阿部郁朗	東京大学大学院 薬学系研究科 教授	天然物化学合成生物学	抗真菌性抗生物質アンチマイシン生合成マシナリーの解明と合成生物学(継続)
角田 誠	東京大学大学院 薬学系研究科 講師	生体分析化学	分析法の開発と生薬の生体作用メカニズム解明
影近弘之	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授	医薬化学	新規核内受容体リガントの創製と医薬応用基盤の構築
松崎京子	東京医科歯科大学 助教	分子細胞生物学	骨格筋幹細胞における転写共役因子 YAP1・TAZ の生理的役割を踏まえた新しいサルコペニア治療方法の開発

清原寛章	北里大学 北里生命科学研究所 教授	漢方医学	補中益気湯の漢方および中 薬処方の粘膜免疫系調節作 用と作用成分の包括的比較 研究
藤島 浩	鶴見大学 歯学部 教授	眼科	アトピー性結膜炎での自然 免疫と制御機構についての 検討
齊藤和季	千葉大学大学院 薬学研究院 研究院長・教授	生薬学、植物 ゲノム機能科 学・バイオテ クノロジー	薬用植物における科学的多 様性のゲノム起源の解明
岳 鳳鳴	信州大学 学術研究院 医学系 組織発生学講座 助教	幹細胞生物学	リプログラミングによる膵がん 幹細胞治療に応用可能な 漢方薬の探索
森田洋行	富山大学 和漢医薬学総合研究所 教授	天然物化学	未利用薬用資源からの医薬 品シードの探索と遺伝資源 バンクの拡張
門脇 真	富山大学 和漢医薬学総合研究所 消化管生理学分野 教授	漢方薬理学 免疫学	漢方医薬学と数理工学の融 合による「未病」の科学的予 測と新規医療戦略の構築 -腸管免疫性疾患への新た なアプローチ-
早川芳弘	富山大学 和漢医薬学総合研究所 准教授	腫瘍生物学 免疫学	がん細胞の免疫抵抗性獲得 メカニズムをターゲットにした 新規がん免疫療法に有用な 天然物の探索研究
中田光俊	金沢大学 医薬保健研究域医学系 教授	脳神経外科	既存医薬品による脳腫瘍に 対する新規化学療法の確立
長田直人	金沢大学 医薬保健研究域医学系 助教	薬理学	エネルギー消費を増大させ る抗肥満機能性食品の 開発研究

伊藤美千穂	京都大学大学院 薬学研究科 准教授	薬品資源学	沈香の芳香成分およびその 生薬薬理学的研究と医薬品 等への応用についての検討
亀井加恵子	京都工芸繊維大学 分子化学系 教授	生化学	桑葉経口投与による耐糖能 異常改善機構の解明
赤井周司	大阪大学 薬学研究科 教授	医薬品化学	創薬研究を加速する有機合 成反応の革新
本田知之	大阪大学大学院 医学系研究科 准教授	ウイルス学	生薬由来化合物による B 型 肝炎ウイルスの制御法の探 索
石井秀始	大阪大学大学院 医学系研究科 特任教授（常勤）	創薬プロファ イリング学	免疫機序を制御する画期的 なイノベーションの実現
佐竹 渉	神戸大学大学院 医学研究科 助教	神経内科／分 子脳科学	パーキンソン病の新病態・医 療応用研究

II. 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 28 年 6 月 3 日	1. 平成 27 年度事業報告及び収支決算に ついて	全会一致で承認・可決
	2. 職務執行状況の報告について（報告）	
平成 29 年 1 月 6 日 （決議の省略）	1. 平成 29 年度臨時評議員会の開催及び招集 について	全会一致で承認・可決
平成 29 年 3 月 4 日	1. 平成 29 年度事業計画及び収支予算に ついて	全会一致で承認・可決
	2. 株主権の議決権行使について	全会一致で承認・可決
	3. 平成 29 年度定時評議員会の開催 について	全会一致で承認・可決
	4. 職務執行状況の報告について（報告）	

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 28 年 6 月 21 日	1. 平成 27 年度事業報告（報告）	
	2. 平成 27 年度決算の承認について	全会一致で承認・可決
	3. 評議員候補者の推薦について	全会一致で承認・可決
平成 29 年 3 月 4 日	1. 平成 29 年度事業計画及び収支予算 について	全会一致で承認・可決
	2. 株主権の議決権行使について（報告）	
	3. 平成 29 年度定時評議員会の開催について （報告）	
	4. 職務執行状況の報告について（報告）	

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 28 年 12 月 15 日	平成 28 年度研究助成の選考 （申請件数 36 件）	書類審査により、新規 に 20 件を選考